

令和3年度

学校評価報告書



甲府市立西中学校

1 基本方針

令和3年度当初に確認された、「令和3年度学校経営の柱」に示されている20の「重点事項」について、教職員による「自己評価」を行うとともに、生徒・保護者にもアンケートを実施し、学校改善への資料とする。

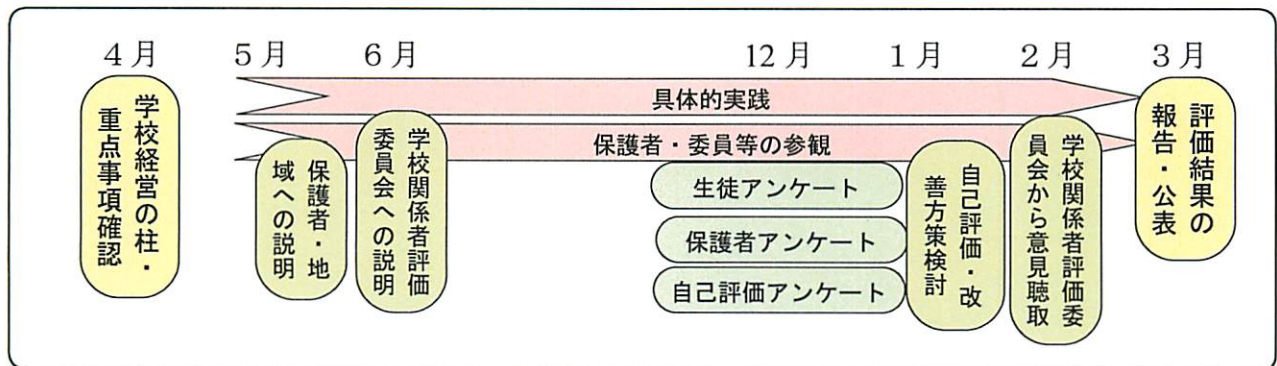
また、自己評価の結果について「学校関係者評価委員会」により評価することをおして、客観性・透明性を高め、学校・保護者・地域が連携して学校運営の改善・教育水準の向上にあたることを目指す。

2 評価指標（評価項目）・アンケート対象について

令和3年度学校経営の柱に示されている20の「重点事項」について、評価項目を設定する。なお、生徒・保護者アンケートについては、回答可能な項目とし、それぞれ20項目・19項目とする。

アンケートは肯定的回答と否定的回答が明確になるよう、各項目について4段階評価で実施する。また、アンケート対象は全生徒・全保護者（家庭数）とした。

3 日程



*生徒アンケート：12/7～17まで（Googleフォームで実施）

生徒数388 回答数352 回収率90.7%

*保護者アンケート：12/7～17まで（西中安心メールで実施）

家庭数368 回答数321 回収率87.2%

4 評価結果の分析・活用

アンケート結果については、肯定的回答が90%を越えた項目については「良好」と判断し、肯定的評価が80%を下回った項目については具体的な改善策を検討していくこととする。

また、分析や改善策については「PTA本会役員会」及び「学校関係者評価委員会（学校評議員会）」からの意見聴取を経て検討後、ホームページ等で公表する。

令和3年度
自己評価書

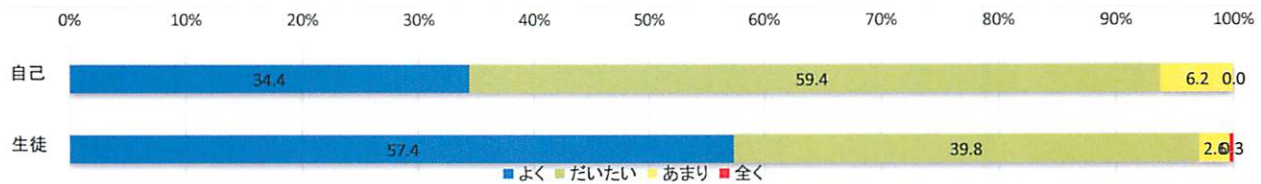


甲府市立西中学校

I 確かな学力の育成と向上(学力保障)

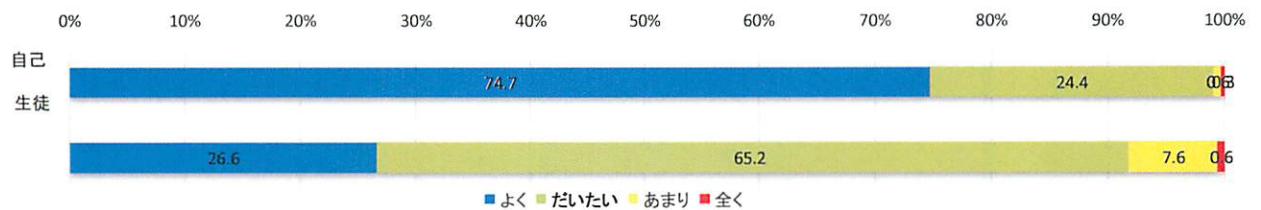
1 生徒が深く考え、主体的・対話的に取り組む授業実

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	授業において、主体的・対話的な活動を取り入れ、深く考える授業実践に努めている	34.4	59.4	6.2	0.0	93.8	100.0	95.8
生徒	授業中の課題に、前向きに取り組む、解決できるように取り組んでいる	57.4	39.8	2.6	0.3	97.2	94.5	91.5



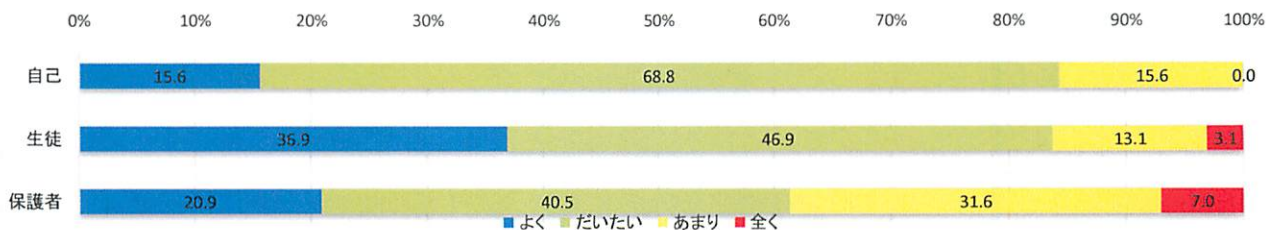
2 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
生徒	先生はわかりやすく授業をしてくれる	74.7	24.4	0.6	0.3	99.1	98.9	97.8
保護者	学校では学習指導や学力向上への取り組みが適切に進められている	26.6	65.2	7.6	0.6	91.8	96.8	94.6



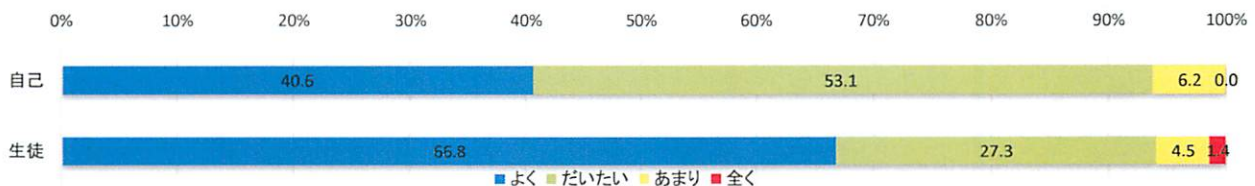
3 家庭学習の定着

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒の家庭学習が習慣化するよう授業スタイルを工夫し、「学びの記録」の活用と家庭学習の課題設定に配慮している	15.6	68.8	15.6	0.0	84.4	85.0	95.8
生徒	「学びの記録」は学習内容の振り返りや家庭学習に役立っている	36.9	46.9	13.1	3.1	83.8	77.9	75.8
保護者	お子さんは家庭学習が習慣化している	20.9	40.5	31.6	7.0	61.4	60.5	55.8



4 小集団を活用した授業

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	少人数での学習場面や課題設定を工夫するなど、授業の中で生徒の思考力・判断力・表現力を高めるような実践を進めている	40.6	53.1	6.2	0.0	93.7	96.0	95.8
生徒	授業中少人数で学習することにより、自分では気がつかなかったアイデアを知ったり、自分の考えがより良いものになったりすることがある	66.8	27.3	4.5	1.4	94.1	94.7	95.9



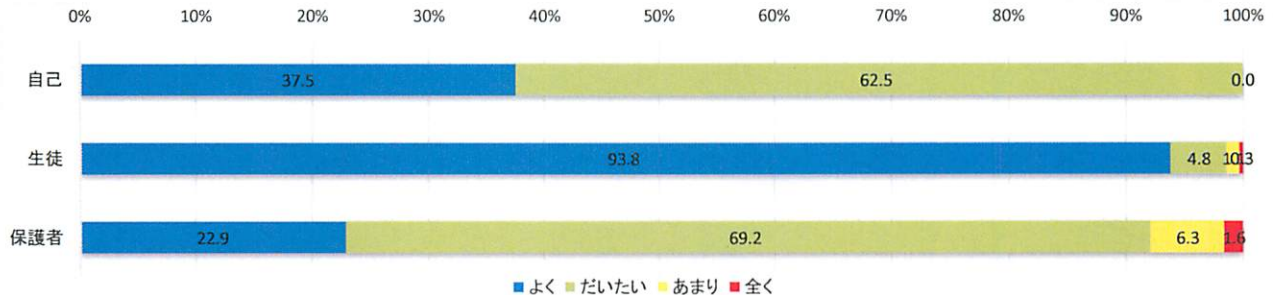
考察

小集団での学習や課題に対し積極的に取り組めたという生徒の意識は高い。コロナ禍の中であったが、教員が授業を工夫して行ったことや10月より始まった1人1台の学習用パソコンの利用により効果的な学習を行うことができた。また、西中がこれまで続けてきた「学びの記録」について、生徒はその有益性を感じていることもわかる。小集団での学習は、密にならないように工夫をしながら、今後も工夫して取り組む必要がある。

Ⅱ よりよく生きようとする心の教育・生徒指導の充実 特別支援教育体制の整備・推進(成長保障)

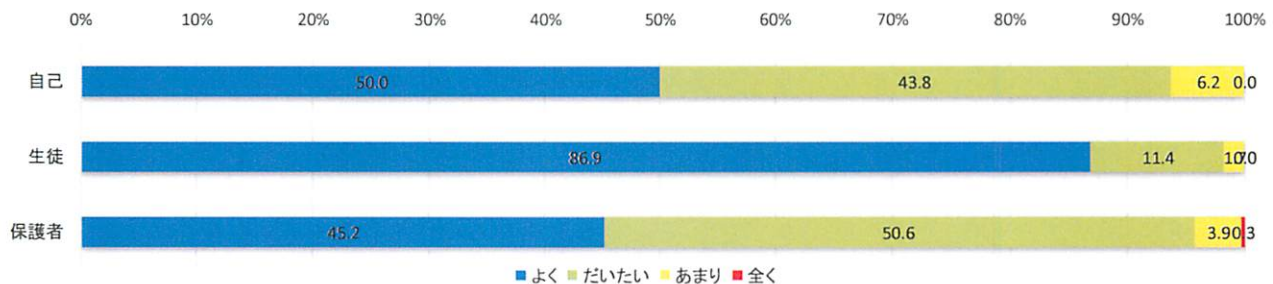
1 いじめ問題への取り組み

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒の人権意識高揚を図るなどいじめの未然防止や、早期発見・早期対応に努めている	37.5	62.5	0.0	0.0	100.0	100.0	95.8
生徒	いじめは絶対にいけないと思う	93.8	4.8	1.1	0.3	98.6	99.1	99.5
保護者	学校はいじめ問題に適切に取り組んでいる	22.9	69.2	6.3	1.6	92.1	96.5	96.2



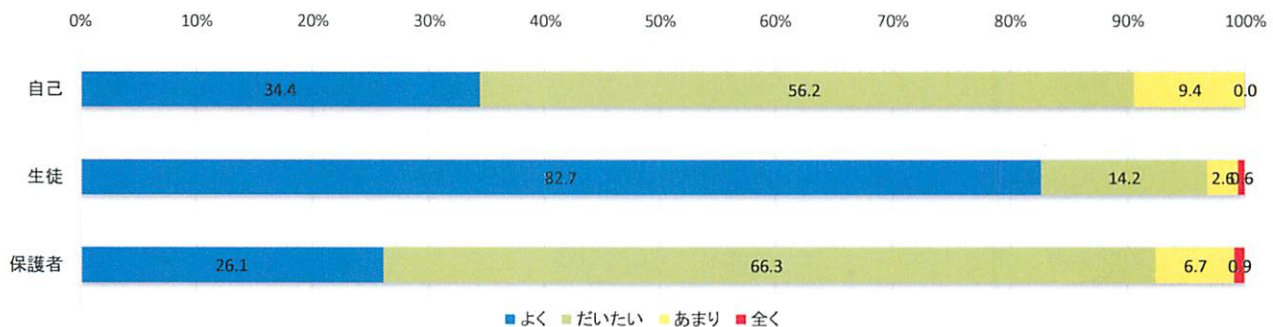
2 不登校への対応

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒間の望ましい人間関係構築に努めるなど豊かな人間性を育む指導が行われている	50.0	43.8	6.2	0.0	93.8	100.0	95.8
生徒	私の周りには、優しく、思いやりもった友達がいる	86.9	11.4	1.7	0.0	98.3	97.8	96.2
保護者	お子さんの友達との人間関係は良好である	45.2	50.6	3.9	0.3	95.8	96.2	91.8



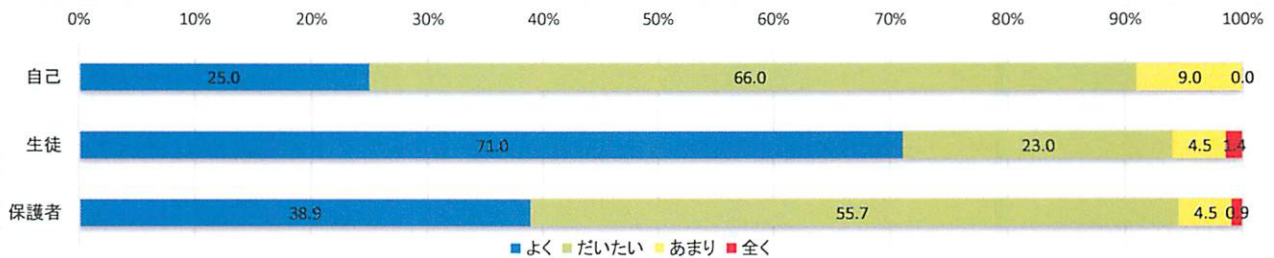
3 道徳教育

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	命の大切さや人間としての生き方などについて、道徳の時間を中核に全教育活動において道徳教育の推進に心がけている	34.4	56.2	9.4	0.0	90.6	100.0	87.5
生徒	道徳の授業で命の大切さや人間としての生き方について考えることがあった	82.7	14.2	2.6	0.6	96.9	97.2	99.5
保護者	学校では命の大切さや人間としての生き方について適切に指導している	26.1	66.3	6.7	0.9	92.4	97.4	95.9



4 教育相談体制の構築

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	職員による相談体制が確立され、関係機関との連携が効果的に推進されている	25.0	66.0	9.0	0.0	91.0	100.0	95.8
生徒	先生方は悩み事や相談に親身になって対応してくれる	71.0	23.0	4.5	1.4	94.0	97.6	94.5
保護者	教職員は保護者からの問い合わせや相談に誠実に対応している	38.9	55.7	4.5	0.9	94.6	97.1	93.7



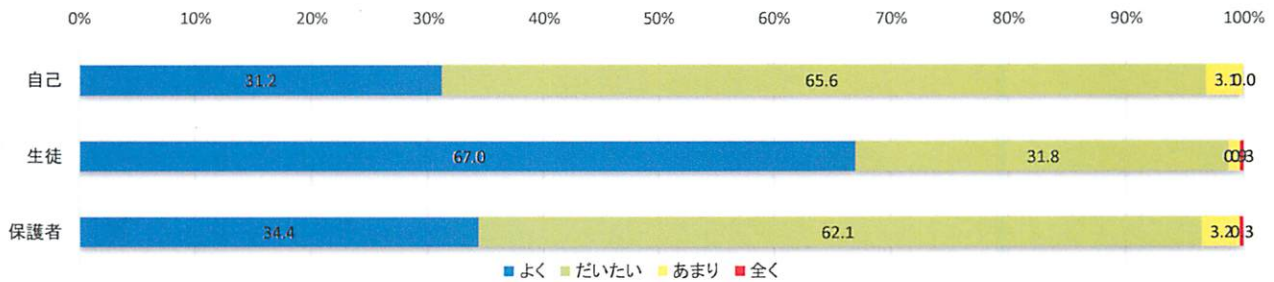
考察

・どの項目についても肯定的な割合が90ポイントを超している。今後もいじめや不登校生徒への関わりなど、生徒に寄り添った指導を続けていく必要がある。

Ⅲ健康体力の向上・安全管理体制の見直し・充実(健康体力・防災)

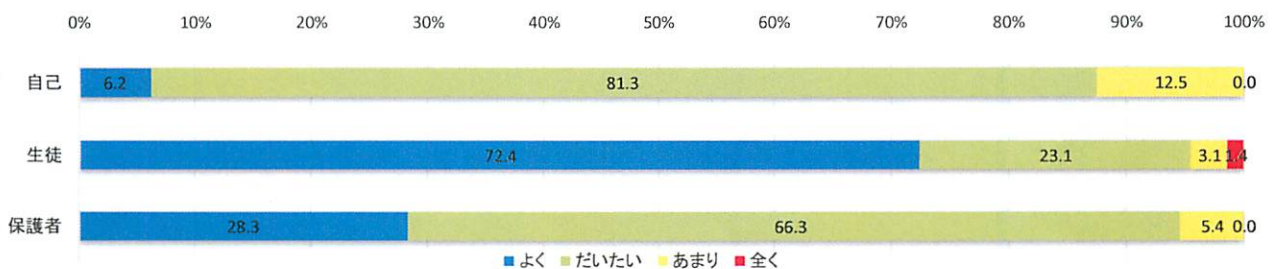
1 安全管理体制の構築

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	交通安全・防災・防犯等に対する安全管理体制の見直しや充実が図られている	31.2	65.6	3.1	0.0	96.8	93.0	95.8
生徒	地震や火災の時どう避難したらよいかなどわかっている	67.0	31.8	0.9	0.3	98.8	96.4	97.8
保護者	学校では、交通安全や防災・防犯への指導に適切に取り組んでいる	34.4	62.1	3.2	0.3	96.5	98.0	97.8



2 健康・体力の向上

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	健康づくり・体力づくりの取り組みが確実に進められている	6.2	81.3	12.5	0.0	87.5	92.0	83.3
生徒	授業や学級活動、部活動などをおして、健康について考えたり、体力向上に努めている	72.4	23.1	3.1	1.4	95.5	96.7	94.0
保護者	学校では、生徒の健康づくりや体力向上に適切に取り組んでいる	28.3	66.3	5.4	0.0	94.6	97.8	95.9



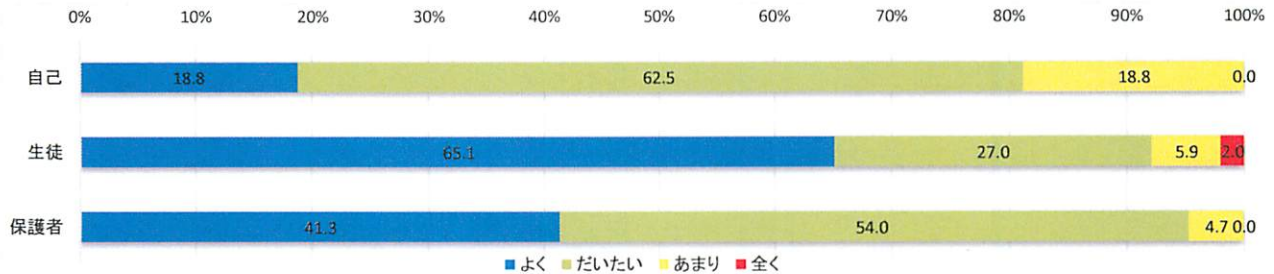
考察

・避難訓練の計画的な実施により、生徒がどのように避難していいの理解することができている。来年度も命を守る訓練(地震、火災、洪水等)を継続的に実施していく必要がある。健康体力の向上についてはコロナ禍の中、運動の場面が減っているので工夫して体力の向上を図っていく必要がある。

IV 学校・家庭・地域の連携 開かれた信頼される学校づくり(小中連携)

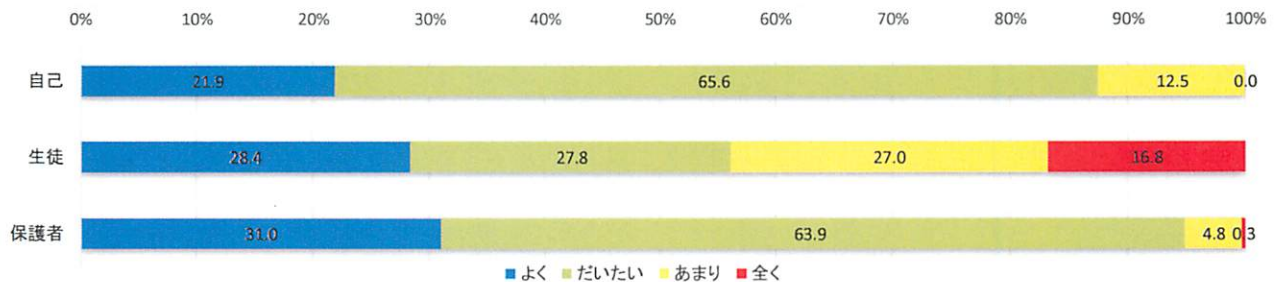
1 小中連携の推進

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	地域の小学校との連携が進められ、生徒の成長や教員の指導に役立っている	18.8	62.5	18.8	0.0	81.3	78.0	83.3
生徒	西中は学区の小学校と工夫して交流している(オープンスクールなど)	65.1	27.0	5.9	2.0	92.1	95.1	67.9
保護者	学校は小学校と工夫しながら連携している(オープンスクールなど)	41.3	54.0	4.7	0.0	95.3	96.4	90.5



2 地域等との連携

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	学校は保護者や地域に積極的に情報を発信し、地域ボランティアを有効に活用し、連携体制が推進されている	21.9	65.6	12.5	0.0	87.5	85.0	95.8
生徒	地域や自治会の行事にできるだけ参加している	28.4	27.8	27.0	16.8	56.2	57.0	59.9
保護者	学校は、教育活動や生徒の様子を適切に伝え、地域とも連携をしている	31.0	63.9	4.8	0.3	94.9	94.2	91.2



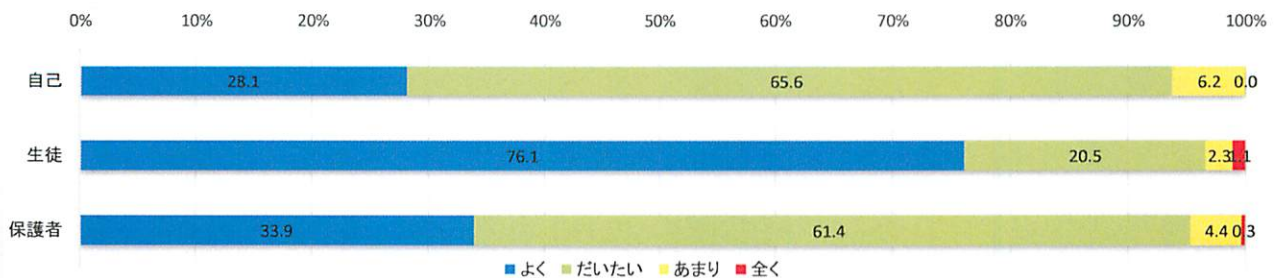
考察

・小中連携では、オープンスクールでの小学生の西中参観や中学生が6年生への陸上競技の指導ができた。昨年度実施できなかったことも少しずつ実施できるようになってきた。コロナ禍で難しい面はあるが、工夫をしながら小中の連携をはかっていきたい。
 ・地域ボランティアの活用は難しかったが、昨年度同様に学生ボランティアの活用をはかることができた。今年度も地域の行事等の中止が相次いでいる。子どもたちが、どのように地域と連携していくか今後の課題である。

V 全生徒参加による生徒会活動(生徒会活動)

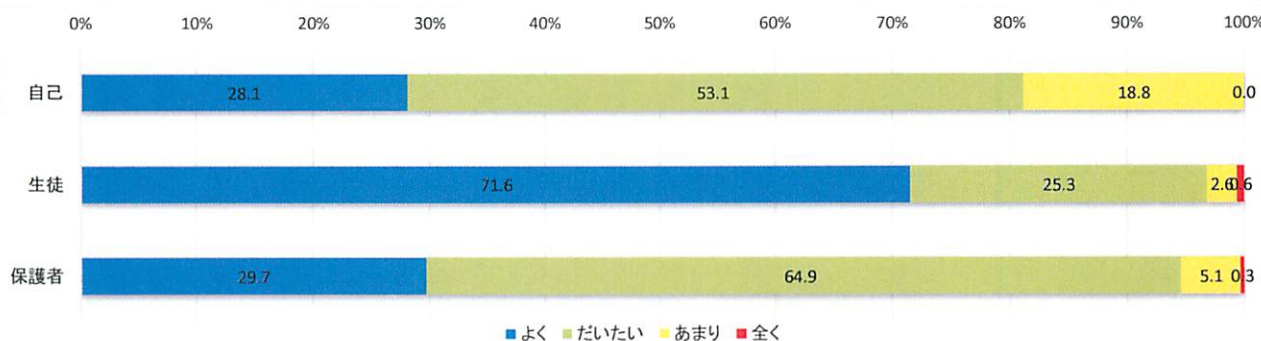
1 委員会活動の活性化

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒の主体性や自主性を育み、自律(自立)の基礎を培うような生徒会活動(委員会活動)が実践されている	28.1	65.6	6.2	0.0	93.7	100.0	100.0
生徒	学園祭や合唱祭をはじめ、日常の委員会活動などにも積極的に参加している	76.1	20.5	2.3	1.1	96.6	95.3	95.3
保護者	学校の生徒会活動は活発である	33.9	61.4	4.4	0.3	95.3	95.4	96.8



2 「誇れる西中」

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒会活動を通して、生徒の「誇れる西中」への参画意識は高まっている。	28.1	53.1	18.8	0.0	81.2	93.0	100.0
生徒	「誇れる西中」(あいさつ・清掃・時間)づくりを意識している	71.6	25.3	2.6	0.6	96.9	95.9	94.0
保護者	学校は「誇れる学校」づくりに向け努力している	29.7	64.9	5.1	0.3	94.6	97.4	95.0



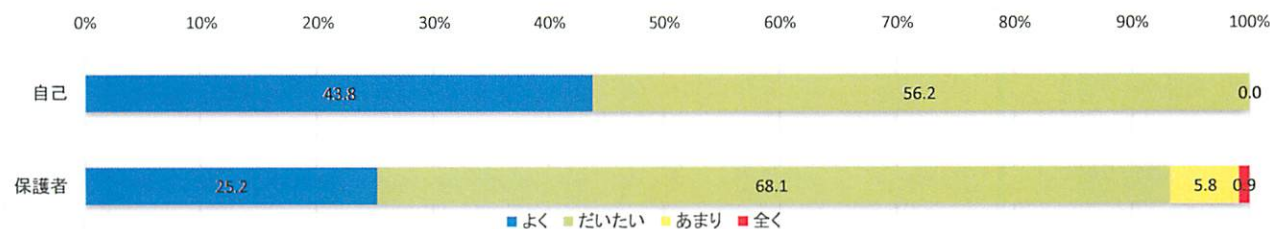
考察

・毎日の委員会活動(花の栽培、あいさつ活動、健康観察、放送当番)は、活発な取り組みを行っており、肯定的な割合が高い。ただ、活動の制限により生徒が主体的に考え行う場面は少なかったため、今後活動の工夫をしていく必要がある。
 ・「誇れる西中」(あいさつ・清掃・時間)に対する生徒の意識は高く、西中に誇りをもって生活していることがうかがえる。

VI 教師として自覚を持ち、自己研鑽に励み組織的な教育活動の実践(職務遂行)

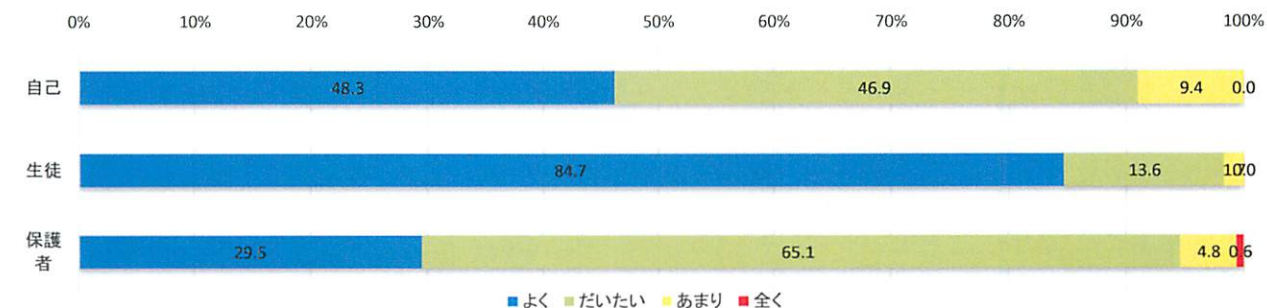
1 学校経営方針

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	学校経営方針や本年度の重点・柱を意識し、実現のため努力している	43.8	56.2	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
保護者	学校の教育活動は、保護者の願いと概ね一致している	25.2	68.1	5.8	0.9	93.3	96.4	91.8



2 組織としての職務遂行

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	教職員としての責務(サービス・勤務・研修等)を果たし、職員が連携・協調した実践が進められている	48.3	46.9	9.4	0.0	95.2	100.0	100.0
生徒	先生方は、生徒のために一生懸命取り組んでくれる	84.7	13.6	1.7	0.0	98.3	98.6	98.4
保護者	学校の教育活動・学校運営は全体的に満足できる状態である	29.5	65.1	4.8	0.6	94.6	96.1	95.3



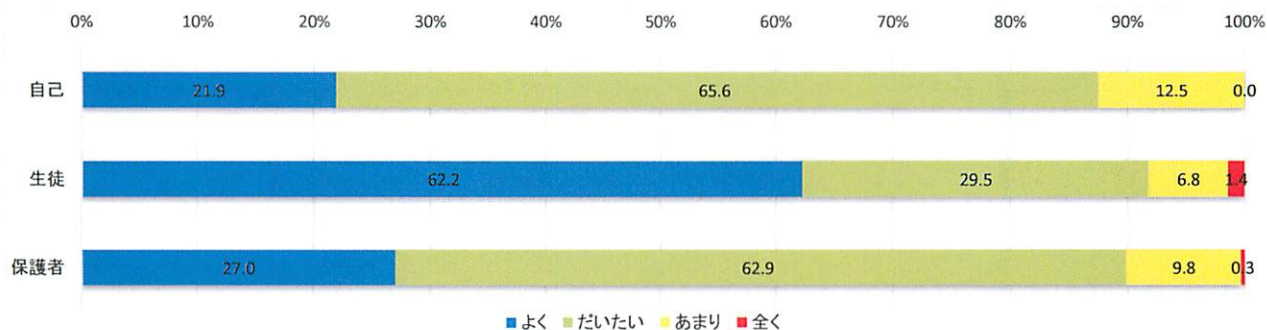
考察

・教育活動の実践については、肯定的な評価が得られていると思われる。ただしこの結果に満足することなく今まで以上に教職員としての職務を遂行していかなければならない。また、生徒や保護者に寄り添いながら教育活動を進めていきたいと考えている。

VII その他(環境整備)

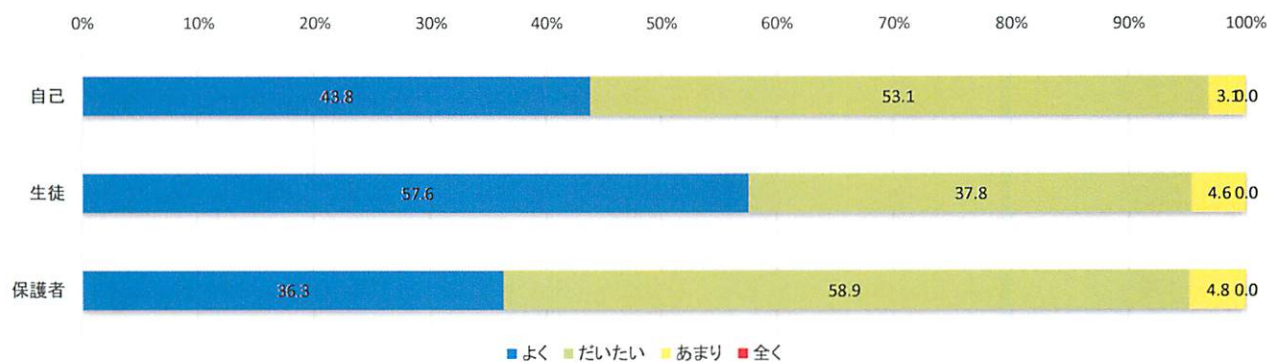
1 あいさつの励行

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	生徒は進んで「明るくさわやかな挨拶」をしている	21.9	65.6	12.5	0.0	87.5	81.0	83.3
生徒	自ら進んで「明るくさわやかな挨拶」をしている	62.2	29.5	6.8	1.4	91.7	90.9	87.9
保護者	生徒は「明るくさわやかな挨拶」ができています	27.0	62.9	9.8	0.3	89.9	89.6	86.8



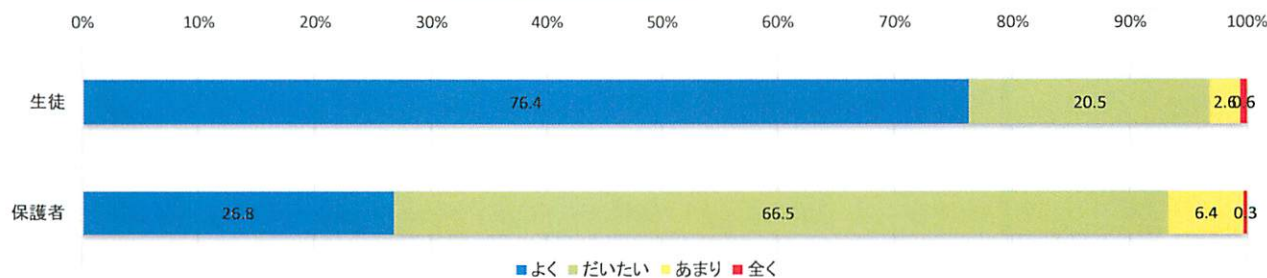
2 整理整頓

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	教室をはじめ校内の環境が整備されている	43.8	53.1	3.1	0.0	96.9	96.0	95.8
生徒	学校内は整理整頓されている	57.6	37.8	4.6	0.0	95.4	97.8	93.4
保護者	学校は、清掃など環境美化が行き届いている	36.3	58.9	4.8	0.0	95.2	95.8	95.3



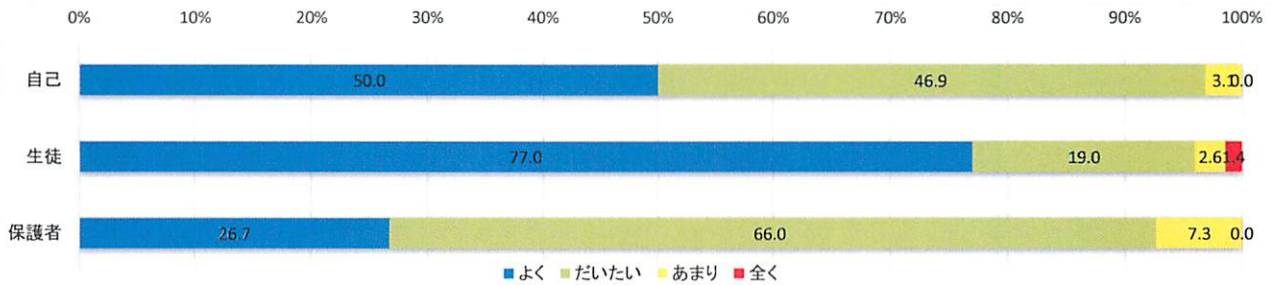
3 言語環境

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
生徒	時と場に応じた言葉遣いをしている	76.4	20.5	2.6	0.6	96.9	97.5	96.2
保護者	西中の生徒は礼儀正しい言葉遣いができる	26.8	66.5	6.4	0.3	93.3	95.4	90.5



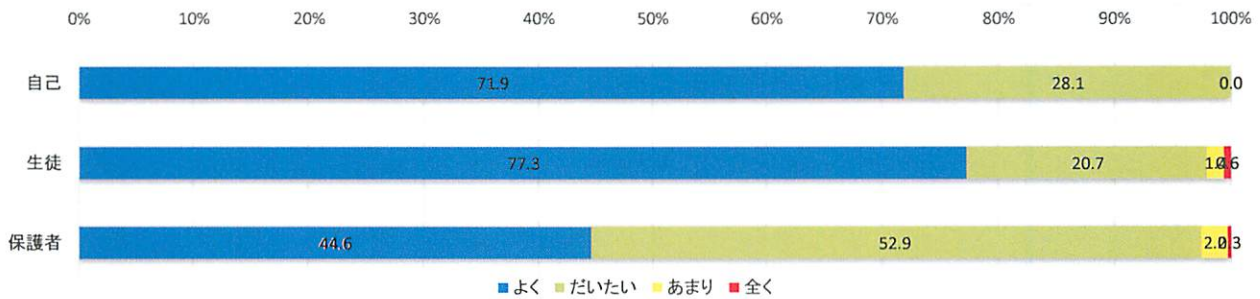
4 情操教育の推進

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	合唱活動、朝読書、ボランティア活動、校内の掲示など多方面から生徒の心を豊かにする取り組みが進められている	50.0	46.9	3.1	0.0	96.9	100.0	100.0
生徒	合唱活動や朝読書など心を豊かにする活動に楽しく取り組んでいる	77.0	19.0	2.6	1.4	96.0	95.6	95.3
保護者	学校では生徒の心を豊かにする教育が行われている	26.7	66.0	7.3	0.0	92.7	94.8	92.4



4 感染症予防対策

評価項目		1	2	3	4	R3肯定的%	R2肯定的%	H31肯定的%
自己	学校では、適切な感染症予防対策を行っている	71.9	28.1	0.0	0.0	100.0	100.0	
生徒	学校では、適切な感染症予防対策を行っている	77.3	20.7	1.4	0.6	98.0	97.8	
保護者	学校では、適切な感染症予防対策を行っている	44.6	52.9	2.2	0.3	97.5	97.8	



考察

合唱祭に向けて短い期間で限られた取り組みであったもの一生涯取り組み生徒の満足度は高い。あいさつや言語活動についてもだいぶ意識して生活をしている様子がうかがえる。今後も情操教育やあいさつ、言語教育等に力を入れ教育活動を進めていきたい。

総括 (来年度の教育課程の編成に向けて)

- ・今年度も昨年度に引き続き、制限が多くあり、工夫をしながらの教育活動となった。行事については中止や縮小での実施となった。
- ・10月から一人一台のクロムブックの運用が開始し、クロムブックを利用した指導実践が始まった。来年度は、さらに研修を進め、クロムブックを授業のツールとして活用し、効果的な授業を行ってきたい。
- ・学びの記録の継続や小集団の活用などの効果的な学習指導に力を入れ、来年度も感染症の予防をはかりながら教育活動を進めていきたい。
- ・学校・家庭・地域の連携は実施に努力をしてきたが難しい状況があった。今年度は、授業参観や合唱祭で保護者に生徒の様子を見てもらう機会を作った。状況を鑑みながら、来年度も保護者や地域との連携方法を探ってきたい。
- ・今年度はアンケートの実施方法を変えて、保護者アンケートと生徒アンケートをICTを活用して実施した。
- ・来年度も健康安全を第一に考えながら、子どもたちのためという教育の原点を大事にして、質の高い教育活動の実施に努めていきたい。

令和4年2月14日(月)



学校関係者評価 資料

令和3年度学校教育の重点と振り返り

新型コロナウイルス感染症対策

○基本的な感染症対策の実施

登校時全生徒の健康チェック・手指消毒・教室の常時換気・前向き無言給食
スクールサポートスタッフ（市教委配置）による共有部分消毒

○感染拡大期における授業形態・内容等の制限

授業中のグループワーク・調理実習や実験・合唱・体育学習内容等の制限

○全市的な分散登校の実施（8/30～9/12・1/26～2/13の2回計5週間）

○修学旅行は10月に日帰り長野方面で実施・学園祭は体育部門のみ1日開催等

◆生徒・保護者の評価（肯定的評価の割合）

Q：学校では、適切な感染症予防対策を行っている

（生徒）98.0% （保護者）97.5%

★振り返りと次年度への展望

本校においても生徒の新型コロナ感染があり、6月21日・1月18日の2回臨時休業となったが、幸い校内での感染拡大はなく臨時休業は1日で終わった。本年度総合体育大会・新人戦は実施されたが、修学旅行は3度の延期を経て日帰りでの実施となるなど各種行事の縮減などにより、生徒の学びや成長にも大きな影響があった。次年度は、生徒の健康・安全に最大限の配慮をしながら、各種行事の実施や保護者への開放についても積極的に取り組んでいきたい。

学習面

○各教科で一人一台端末を授業中積極的に活用するとともに、生徒が持ち帰り家庭学習での利用も進んでいる。（写真①）

○新型コロナにより制限もあったが、多様な発想や表現力を育成することをねらい授業中4人グループを積極的に活用した学びを進めた。（写真②）

○学びを振り返り、表現力（書く力）を育成することをねらい、全ての教科で「学びの記録」を活用するなどワークシートの工夫を行った。

○不登校生徒への個別支援や希望による取出指導などを実施した。（写真③）



①端末を利用した学習



②4人グループで学習



③個別学習支援

◆生徒・保護者の評価

Q：小人数での学習で考えが良いものになる（生徒）	94.1%
Q：「学びの記録」は振り返りや家庭学習に役立つ（生徒）	83.8%
お子さんは家庭学習が習慣化している（保護者）	61.4%
Q：先生方はわかりやすく教えてくれる（生徒）	99.1%
学習指導・学力向上の取組が適切（保護者）	91.8%

★振り返りと次年度への展望

学校の学習指導等について生徒・保護者は概ね満足している。新型コロナウイルス感染症対策により一人一台端末の活用は進んだ一方で、授業改善への取組には課題が残った。また、家庭学習の習慣化については、改善傾向ではあるが更なる取り組みが必要。

生徒指導面

○いじめ問題

年間3回のアンケートや日常の観察等により19件を認知

ほとんどが生徒同士の行き違いや軽微な悪ふざけなど

*全事例について聞き取り・事実確認・事後の経過観察等丁寧に対応

○不登校生徒の状況

年間30日以上欠席のある生徒 19名（2/1 現在 昨年比-7）

学校復帰だけではなく、状況に応じた学習支援を進めるよう努めた

○定期的に生徒アンケートを実施し、生徒の人間関係や学級の状態について分析しながら、全学級において「学級力向上プログラム」に取り組み、生徒の人間関係形成力の育成や暖かく受容的な雰囲気学級の学級づくりに取り組んだ。

◆生徒・保護者の評価

Q：いじめは絶対にいけないと思う（生徒）	98.6%
学校はいじめ問題に適切にとりくんでいる（保護者）	92.1%
Q：先生方は悩みや相談に親身になってくれる（生徒）	94.0%
問い合わせや相談に誠実に対応している（保護者）	94.6%
Q：誇れる西中づくりを意識している（生徒）	96.9%
学校は誇れる西中づくりに向け努力している（保護者）	94.6%

★振り返りと次年度への展望

学校の相談体制やいじめ問題への取り組みについても多くの生徒・保護者が肯定的に捉えているが、今後もきめ細かく対応していきたい。また、「誇れる西中」づくりを意識している生徒の割合は年々高まっており、本校が伝統的に取り組んできた「挨拶・清掃・時間」を生徒がしっかりと意識していることがわかる。一方で各設問に対する保護者の肯定的回答は若干減少しており、「学校の様子を

見る機会が少なく回答できない」との指摘もある。コロナ禍にあっても、学校の取り組みや生徒の様子を積極的に伝えていく工夫が必要。

学校運営

- 学習や部活動の結果だけではなく、取り組みの中での成長（非認知的能力：まじめさ・誠実さ・我慢する力や頑張る力等）を生徒自身にも気づかせ、こういったことへの価値観を高め、自信を持たせるような指導に心がけた。
- 発達障害や発達特性の強い生徒への指導の充実をねらい、専門的な講師を招いての教員研修により教員の指導力向上などに取り組んでいる。

◆生徒・保護者の評価

- Q：教育活動は、保護者の願いと概ね一致している。（保護者） 93.3%
- Q：先生方は、生徒のために一生懸命取り組んでくれる。（生徒） 98.3%
- Q：教育活動・学校運営は全体的に満足できる。（保護者） 94.6%

★振り返りと次年度への展望

学校が重点的に取り組んでいることを多くの生徒や保護者にも理解してもらうことができ、全体的には肯定的な回答の割合が高い。今後も学校の取り組みを積極的に発信するとともに、生徒や保護者の願いを受け止める努力を続けていく必要がある。

その他

○本年度新たに取り組んだ内容

- ・一人一台端末の持ち帰りによる家庭学習の試行
- ・男女混合名簿の導入
- ・校内での防寒着着用など一部校則の見直し

○令和4年度からの新たな取り組み

- ・学校運営協議会導入（コミュニティ・スクール）にむけた準備（全市的に令和5年度より導入・実施予定）

○令和4年度生徒数見込み（R4.2.1現在）

	1 学年	2 学年	3 学年	合計
男	69	55	69	193
女	57	73	63	193
支援学級	3	0	4	7
合計	129	128	136	393